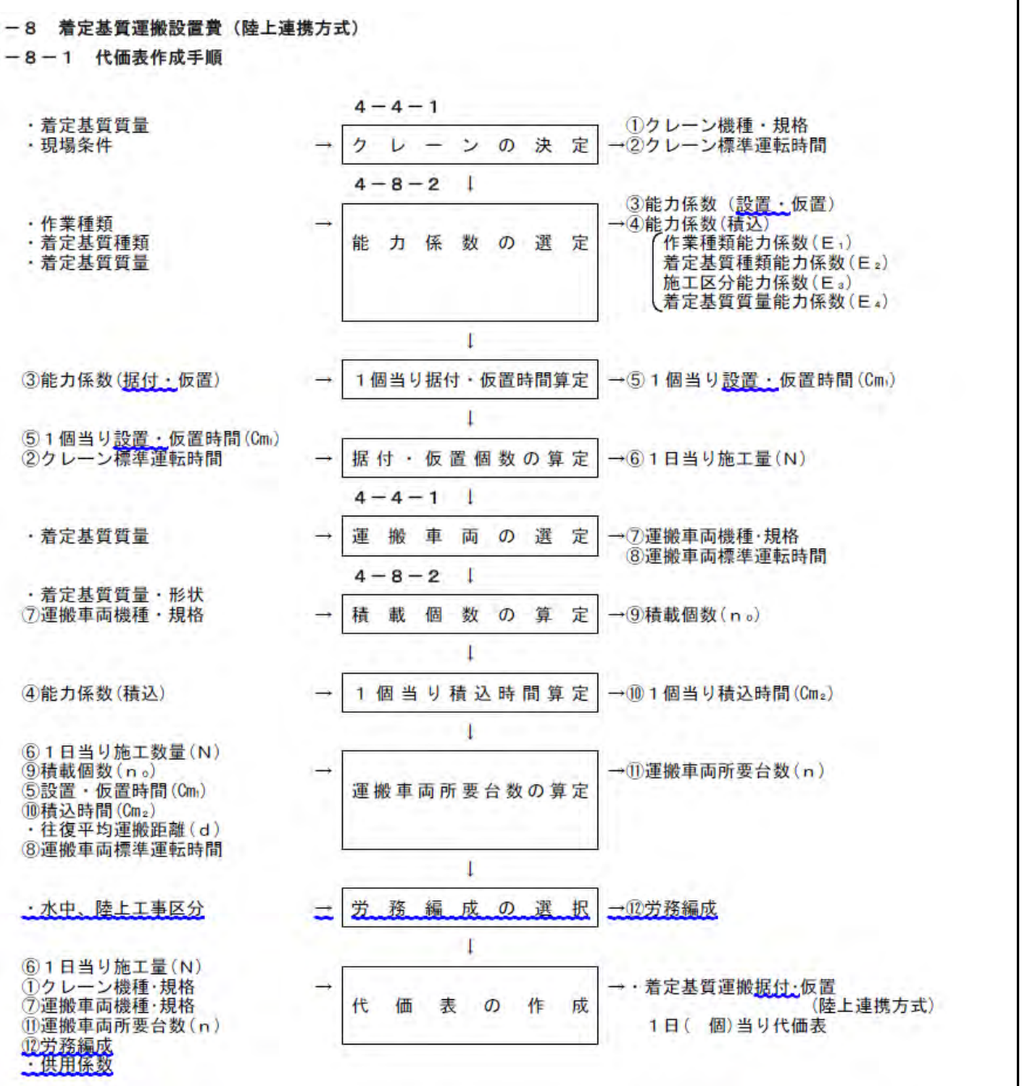
掲載頁	現行	改定	摘要
第３章 直接工事費の施工歩掛 ２節　増殖場工 P3-2-28	 ４－８　着定基質運搬設置費（陸上連携方式） ４－８－１　代価表作成手順 ・着定基質質量 ・現場条件 → ４－４－１ クレーンの決定 →①クレーン機種・規格 →②クレーン標準運転時間 ↓ ・作業種類 ・着定基質種類 ・着定基質質量 → ４－８－２ 能力係数の選定 →③能力係数（設置・仮置） →④能力係数(積込) 作業種類能力係数(E₁) 着定基質種類能力係数(E₂) 施工区分能力係数(E₃) 着定基質質量能力係数(E₄) ↓ ③能力係数(据付・仮置) → 1個当り据付・仮置時間算定 →⑤1個当り設置・仮置時間(Cm₁) ↓ ⑤1個当り設置・仮置時間(Cm₁) ②クレーン標準運転時間 → 据付・仮置個数の算定 →⑥1日当り施工量(N) ↓ ・着定基質質量 → ４－４－１ 運搬車両の選定 →⑦運搬車両機種・規格 ⑧運搬車両標準運転時間 ↓ ・着定基質質量・形状 ⑦運搬車両機種・規格 → ４－８－２ 積載個数の算定 →⑨積載個数(n₀) ↓ ④能力係数(積込) → 1個当り積込時間算定 →⑩1個当り積込時間(Cm₂) ↓ ⑥1日当り施工数量(N) ⑨積載個数(n₀) ⑤設置・仮置時間(Cm₁) ⑩積込時間(Cm₂) ・往復平均運搬距離(d) ⑧運搬車両標準運転時間 → 運搬車両所要台数の算定 →⑪運搬車両所要台数(n) ↓ ・水中、陸上工事区分 → 労務編成の選択 →⑫労務編成 ↓ ⑥1日当り施工量(N) ①クレーン機種・規格 ⑦運搬車両機種・規格 ⑪運搬車両所要台数(n) ⑫労務編成 ・供用係数 → 代価表の作成 →・着定基質運搬据付・仮置（陸上連携方式）1日(　個)当り代価表	 ４－７　着定基質運搬仮置費（陸上連携方式） ４－７－１　代価表作成手順 ・着定基質質量 ・現場条件 → ４－４－１ クレーンの決定 →①クレーン機種・規格 →②クレーン標準運転時間 ↓ ・作業種類 ・着定基質種類 ・着定基質質量 → ４－７－２ 能力係数の選定 →③能力係数（仮置） →④能力係数(積込) 作業種類能力係数(E₁) 着定基質種類能力係数(E₂) 施工区分能力係数(E₃) 着定基質質量能力係数(E₄) ↓ ③能力係数(仮置) → 1個当り仮置時間算定 →⑤1個当り仮置時間(Cm₁) ↓ ⑤1個当り仮置時間(Cm₁) ②クレーン標準運転時間 → 仮置個数の算定 →⑥1日当り施工量(N) ↓ ・着定基質質量 → ４－４－１ 運搬車両の選定 →⑦運搬車両機種・規格 ⑧運搬車両標準運転時間 ↓ ・着定基質質量・形状 ⑦運搬車両機種・規格 → ４－７－２ 積載個数の算定 →⑨積載個数(n₀) ↓ ④能力係数(積込) → 1個当り積込時間算定 →⑩1個当り積込時間(Cm₂) ↓ ⑥1日当り施工数量(N) ⑨積載個数(n₀) ⑤仮置時間(Cm₁) ⑩積込時間(Cm₂) ・往復平均運搬距離(d) ⑧運搬車両標準運転時間 → 運搬車両所要台数の算定 →⑪運搬車両所要台数(n) ↓ ⑥1日当り施工量(N) ①クレーン機種・規格 ⑦運搬車両機種・規格 ⑪運搬車両所要台数(n) → 代価表の作成 →・着定基質運搬仮置（陸上連携方式）1日(　個)当り代価表	（水産庁準拠） 番号の繰上げ 工種体系見直しに伴う設置・据付の削除 労務編成の削除

水産基盤整備事業（漁場）設計積算基準(令和６年１０月）　新旧対照表（令和６年１０月１日以降積算基準日適用）

掲載頁

第３章
直接工事費の施工歩掛
２節　増殖場工
P3-2-29

現行

４－８－２　施工歩掛

１）作業能力

（１）積込・仮置能力算定式

$$N = \frac{60}{Cm_1} \times T_1 \text{（小数１位四捨五入）}$$

N　：１日当たり施工量（個／日）
T_1：陸上クレーン標準運転時間（h／日）
Cm_1：１個当たり設置・仮置時間（分／個）
$Cm_1 = b_i \times E_1 \times E_2 \times E_3 \times E_4$（小数２位四捨五入）
b_i　：標準作業時間（１０分）
E_1　：作業種類能力係数
E_2　：着定基質種類能力係数
E_3　：施工区分能力係数
E_4　：着定基質質量能力係数

係数区分			能力係数	摘要
E_1	積込		０．９０	注）１
	仮置			
	設置		１．００	
E_2	着定基質	異形	１．００	
		単体	１．００	
		組立	１．２０	
	増殖場・産卵礁	単体	１．００	
		組立	１．２０	
E_3	施工区分	陸上	０．９０	

係数区分		能力係数	摘要
E_4	4.5t以下	０．４０	
	4.5 ～ 7.5 〃	０．５５	
	7.5 ～ 12.5〃	０．６５	
	12.5 ～ 22.0〃	０．７５	
	22.0 ～ 31.0〃	０．８５	
	31.0 ～ 37.5〃	０．９０	
	37.5 ～ 50.0〃	１．００	
	50.0 ～ 70.0〃	１．１０	
	70.0 ～100.0〃	１．２０	

注）１　E_2の増殖場・産卵礁は、 産卵礁運搬・設置工の場合に用いる。

（２）運搬車両の着定基質積載個数（n_0）
トレーラまたはトラックへの積載個数は、積載質量、積載スペース及び着定基質の形状等を考慮して決定する。

（３）運搬車両台数の算定

$$n = \frac{\frac{N}{n_0} \times \left(n_0 \times \frac{Cm_1 + Cm_2}{60} + \frac{2 \times d}{v} \right)}{T_2} \text{（小数１位切上げ）}$$

n　：１日当たり運搬車両台数（台／日）
N　：１日当たり施工量（個／日）
n_0：運搬車両１台の着定基質積載個数（個／台）
T_2：運搬車両標準運転時間（h／日）
d　：往復平均運搬距離（km）
v　：往復平均運搬速度（km／h）
Cm_1：１個当り設置・仮置時間（分／個）
$Cm_1 = b_i \times E_1 \times E_2 \times E_3 \times E_4$（小数２位四捨五入）
Cm_2：１個当り積込時間（分／個）
$Cm_2 = b_i \times E_1 \times E_2 \times E_3 \times E_4$（小数２位四捨五入）
b_i：標準作業時間（１０分）
E_1：作業種類能力係数
E_2：着定基質種類能力係数
E_3：施工区分能力係数
E_4：着定基質質量能力係数

改定

４－７－２　施工歩掛

１）作業能力

（１）積込・仮置能力算定式

$$N = \frac{60}{Cm_1} \times T_1 \text{（小数１位四捨五入）}$$

N　：１日当たり施工量（個／日）
T_1：陸上クレーン標準運転時間（h／日）
Cm_1：１個当たり仮置時間（分／個）
$Cm_1 = b_i \times E_1 \times E_2 \times E_3 \times E_4$（小数２位四捨五入）
b_i　：標準作業時間
E_1　：作業種類能力係数
E_2　：着定基質種類能力係数
E_3　：施工区分能力係数
E_4　：着定基質質量能力係数

（２）能力係数等

①異形ブロック

係数区分		能力係数	摘要
b_i	標準作業時間（分）	８．５０	
E_1	積込	０．９０	
	仮置		
E_2	ｺﾝｸﾘｰﾄ製組立着定基質	１．００	
E_3	鋼製組立着定基質	０．９０	

係数区分		能力係数	摘要
E_4	4.5t以下	０．５０	
	4.5 ～ 7.5 〃	０．６５	
	7.5 ～ 12.5〃	０．７０	
	12.5 ～ 22.0〃	０．８０	
	22.0 ～ 31.0〃	別途考慮する	
	31.0 ～ 37.5〃		
	37.5 ～ 50.0〃		
	50.0 ～ 70.0〃		
	70.0 ～100.0〃		

※異形ブロック運搬据付（陸上連携方式）を適用している。

②単体着定基質、コンクリート製組立着定基質、鋼製組立着定基質

係数区分			能力係数	摘要
b_i	標準作業時間（分）		８．００	
E_1	積込		１．００	
	仮置			
E_2	単体着定基質		０．９０	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ製組立着定基質		１．００	
	鋼製組立着定基質		１．７５	
E_3	施工区分	陸上	１．００	

係数区分		能力係数	摘要
E_4	4.5t以下	０．４０	
	4.5 ～ 7.5 〃	０．９５	
	7.5 ～ 12.5〃	１．００	
	12.5 ～ 22.0〃	１．１５	
	22.0 ～ 31.0〃	別途考慮する	
	31.0 ～ 37.5〃		
	37.5 ～ 50.0〃		
	50.0 ～ 70.0〃		
	70.0 ～100.0〃		

（３）運搬車両の着定基質積載個数（n_0）
トレーラまたはトラックへの積載個数は、積載質量、積載スペース及び着定基質の形状等を考慮して決定する。

（４）運搬車両台数の算定

$$n = \frac{\frac{N}{n_0} \times n_0 \times \frac{Cm_1 + Cm_2}{60} + \frac{2 \times d}{v}}{T_2} \text{（小数１位切上げ）}$$

n　：１日当たり運搬車両台数（台／日）
N　：１日当たり施工量（個／日）
n_0：運搬車両１台の着定基質積載個数（個／台）
T_2：運搬車両標準運転時間（h／日）
d　：往復平均運搬距離（km）
v　：往復平均運搬速度（km／h）
Cm_1：１個当り仮置時間（分／個）
$Cm_1 = b_i \times E_1 \times E_2 \times E_3 \times E_4$（小数２位四捨五入）
Cm_2：１個当り積込時間（分／個）
$Cm_2 = b_i \times E_1 \times E_2 \times E_3 \times E_4$（小数２位四捨五入）

摘要

（水産庁準拠）
番号の繰上げ

工種体系見直しに伴う設置の削除

能力係数の変更

水産基盤整備事業（漁場）設計積算基準(令和６年１０月）　新旧対照表（令和６年１０月１日以降積算基準日適用）

掲載頁	現行	改定	摘要
第３章 直接工事費の施工歩掛 ２節　増殖場工 P3-2-30			（水産庁準拠） 労務編成の削除

現行

２）労務編成　（単位：人または日）

名称	玉掛・玉外のどちらも陸上(水上)の場合	玉掛・玉外のどちらか水中の場合	摘要
とび工	2	2	
普通作業員	4	4	
潜水士船	―	1	

３）代価表
（１）着定基質運搬据付・仮置（陸上連携方式）　１日（　個）当り　【Ｊ９９０７０】【Ｊ９９０２５】

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
ラフテレーンクレーン又はクローラクレーン	(油)　t吊	日	1.0	据付・仮置用 標準運転時間
ラフテレーンクレーン又はクローラクレーン	(油)　t吊	日	1.0	積込用 標準運転時間
トレーラ又はトラック	t積	日		標準運転時間
潜水士船	D180PS型　3～5t吊	日	２）による	就業８Ｈ
とび工		人	〃	
普通作業員		人	〃	
雑材料		%		

改定

２）代価表
（１）着定基質運搬仮置（陸上連携方式）　１日（　個）当り　【Ｊ９９０７０】【Ｊ９９０２５】

名称	形状寸法	単位	数量	摘要
ラフテレーンクレーン又はクローラクレーン	(油)　t吊	日	1.0	仮置用 標準運転時間
ラフテレーンクレーン又はクローラクレーン	(油)　t吊	日	1.0	積込用 標準運転時間
トレーラ又はトラック	t積	日		標準運転時間
とび工		人	2	
普通作業員		人	4	
雑材料		%		

注）玉掛・玉外のどちらも陸上（水上）以外の場合は、別途考慮する

摘要

字句修正

注意書きの追加

水産基盤整備事業（漁場）設計積算基準（令和６年１０月）　新旧対照表（令和６年１０月１日以降積算基準日適用）

掲載頁	現行	改定	摘要
第３章 直接工事費の施工歩掛 ２節　増殖場工 P3-2-31			（水産庁準拠） 積算基準の改定に伴う代価表の修正

現行

施工単価コード	J	9	9	0	7	0

施工単価名称	着定基質運搬据付・仮置費（陸上連携方式）	出力数量	1	単位	個

注意事項
1　適用にあたっては、積算基準（増）４－８－２を参照
2　標準機種の時に適用する。
3　本施工単価は、１個当たりに割り戻してある。

条件	条件名称	条件値	条件内容
A	着定基質質量	1	４．５ｔ以下
		2	４．５ｔ　～　７．５ｔ以下
		3	７．５ｔ　～　１２．５ｔ以下
		4	１２．５ｔ　～　２２．０ｔ以下
		5	２２．０ｔ　～　３１．０ｔ以下
		6	３１．０ｔ　～　３７．５ｔ以下
		7	３７．５ｔ　～　５０．０ｔ以下
B	作業区分	1	玉掛・玉外のどちらも陸上（水上）の場合
		2	玉掛・玉外のどちらか水中の場合
C	船舶供用係数α	実数	αを実数入力　（Ｂ＝１の時、入力不可）
D	船員供用係数β	実数	βを実数入力（就業８時間）　（Ｂ＝１の時、入力不可）
E	運搬車両台数	実数	１日当たりの運搬車両台数（台／日）を実数入力（小数１位切上げ）
F	作業能力	実数	１日当たりの据付・仮置個数（個／日）を実数入力（小数１位四捨五入）

改定

施工単価コード	J	9	9	0	7	0

施工単価名称	着定基質運搬仮置費（陸上連携方式）	出力数量	1	単位	個

注意事項
1　適用にあたっては、積算基準（増）４－７－２を参照
2　標準機種の時に適用する。
3　本施工単価は、１個当たりに割り戻してある。

条件	条件名称	条件値	条件内容
A	ブロック種類	1	異形ブロック
		2	単体着定基質
		3	コンクリート製組立着定基質
		4	鋼製組立着定基質
B	着定基質質量	1	４．５ｔ以下
		2	４．５ｔ以下（特殊車両）
		3	４．５ｔ超え　～　７．５ｔ以下
		4	４．５ｔ超え　～　７．５ｔ以下（特殊車両）
		5	７．５ｔ超え　～　１２．５ｔ以下
		6	１２．５ｔ超え　～　２２．０ｔ以下
		7	２２．０ｔ超え　～　３１．０ｔ以下
		8	３１．０ｔ超え　～　３７．５ｔ以下
		9	３７．５ｔ超え　～　５０．０ｔ以下
		10	５０．０ｔ超え　～　７０．０ｔ以下
		11	７０．０ｔ超え　～１００．０ｔ以下
C	運搬車両台数	実数	１日当たりの運搬車両台数（台／日）を実数入力（小数１位切上げ）
D	作業能力	実数	１日当たりの運搬仮置個数（個／日）を実数入力（小数１位四捨五入）

水産基盤整備事業（漁場）設計積算基準（令和６年１０月）　新旧対照表（令和６年１０月１日以降積算基準日適用）

掲載頁	現行	改定	摘要
第３章 直接工事費の施工歩掛 ２節　増殖場工 P3-2-32			（水産庁準拠） 積算基準の改定に伴う代価表の修正

現行

施工単価コード	Ｊ	９	９	０	２	５

施工単価名称	着定基質運搬据付・仮置費（陸上連携方式）（２）	出力数量	１	単位	個

注意事項
１　適用にあたっては、積算基準（増）４－８－２を参照
２　標準外機種の時に適用する。
３　本施工単価は、１個当たりに割り戻してある。

条件	条件名称	条件値	条件内容
A	ブロック区分	1	基準日２００１年１０月１日より入力不可
		2	基準日２００１年１０月１日より入力不可
		3	基準日２００１年１０月１日より入力不可
		4	基準日２００１年１０月１日より入力不可
		5	基準日２００１年１０月１日より入力不可
		6	基準日２００１年１０月１日より入力不可
		7	基準日２００１年１０月１日より入力不可
B	着定基質質量	1	４．５ｔ以下
		2	４．５ｔ　～　７．５ｔ以下
		3	７．５ｔ　～　１２．５ｔ以下
		4	１２．５ｔ　～　２２．０ｔ以下
		5	２２．０ｔ　～　３１．０ｔ以下
		6	３１．０ｔ　～　３７．５ｔ以下
		7	３７．５ｔ　～　５０．０ｔ以下
		8	５０．０ｔ　～　７０．０ｔ以下
		9	７０．０ｔ　～１００．０ｔ以下
C	据付・仮置クレーン区分	1	ラフテレーンクレーン（油）　２５吊
		2	〃　（油）　３５吊
		3	基準日２００３年１０月１日より入力不可
		4	〃　（油）　４５吊
		5	〃　（油）　５０吊
		6	基準日２００３年１０月１日より入力不可
		7	クローラクレーン（油）　３５吊
		8	〃　（油）　４０吊
		9	〃　（油）　５０吊
		１０	〃　（油）　６５吊
		１１	〃　（油）　８０吊
		１２	〃　（油）　１００吊
		１３	〃　（油）　１５０吊
		１４	〃　（油）　２５０吊
		１５	〃　（油）　３００吊
D	積込クレーン区分	1～15	Ｃ条件から選択
E	運搬車両区分	1	１１ｔ積トラック
		2	１５ｔ積トレーラ
		3	２０ｔ積トレーラ
		4	２５ｔ積トレーラ
		5	３２ｔ積トレーラ
		6	４０ｔ積トレーラ
		7	５０ｔ積トレーラ
		8	６０ｔ積トレーラ
		9	７０ｔ積トレーラ
F	作業区分	1	玉掛・玉外のどちらも陸上（水上）の場合
		2	玉掛・玉外のどちらか水中の場合
G	船舶供用係数α	実数	αを実数入力　（Ｆ＝１の時、入力不可）
H	船員供用係数β	実数	βを実数入力（就業８時間）　（Ｆ＝１の時、入力不可）
I	運搬車両台数	実数	１日当たりの運搬車両台数（台／日）を実数入力（小数１位切上げ）
J	作業能力	実数	１日当たりの据付・仮置個数（個／日）を実数入力（小数１位四捨五入）

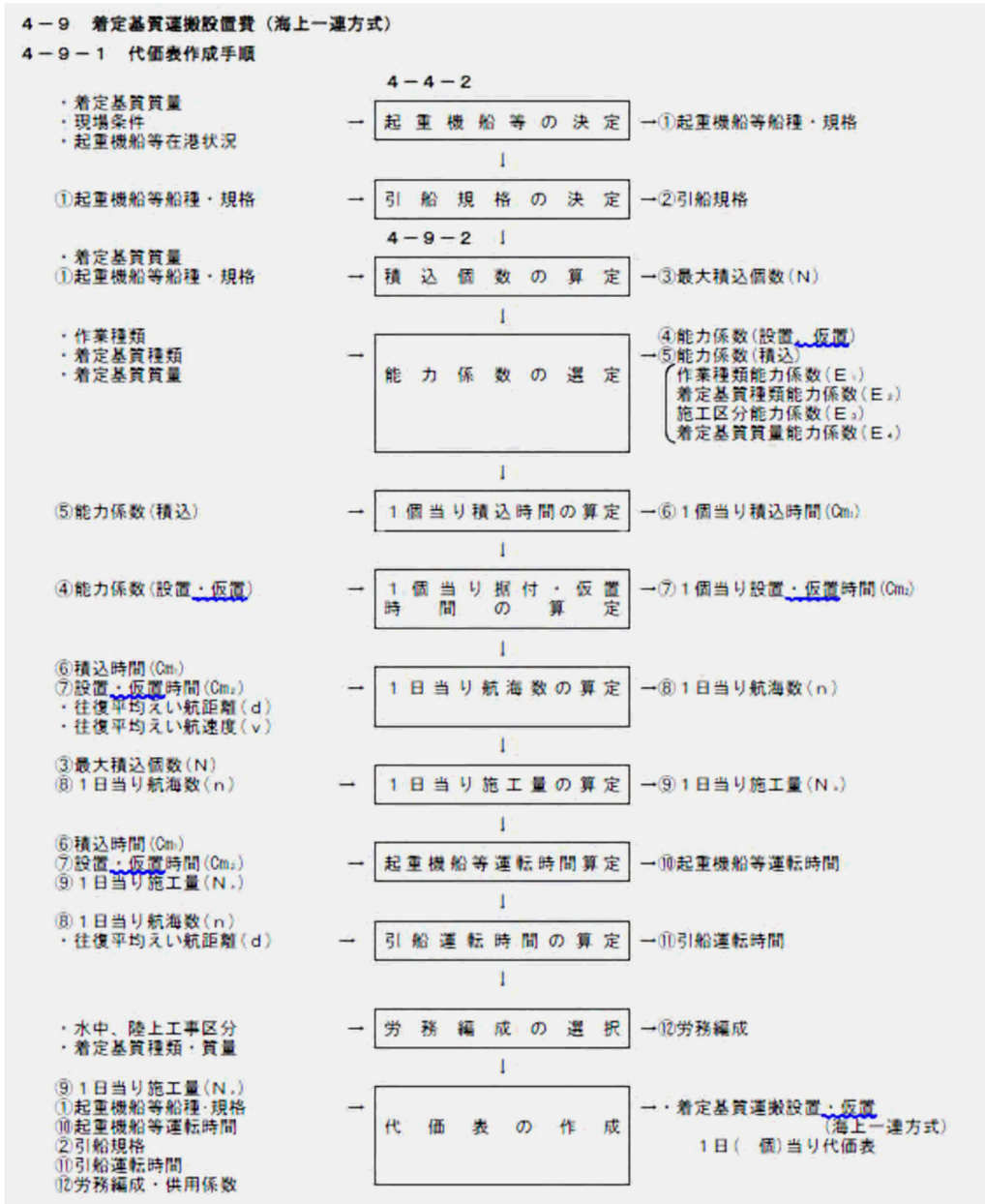
改定

施工単価コード	Ｊ	９	９	０	２	５

施工単価名称	着定基質運搬仮置費（陸上連携方式）（２）	出力数量	１	単位	個

注意事項
１　適用にあたっては、積算基準（増）４－７－２を参照
２　標準外機種の時に適用する。
３　本施工単価は、１個当たりに割り戻してある。

条件	条件名称	条件値	条件内容
A	ブロック種類	1	異形ブロック
		2	単体着定基質
		3	コンクリート製組立着定基質
		4	鋼製組立着定基質
B	着定基質質量	1	４．５ｔ以下
		2	４．５ｔ超え　～　７．５ｔ以下
		3	７．５ｔ超え　～　１２．５ｔ以下
		4	１２．５ｔ超え　～　２２．０ｔ以下
		5	２２．０ｔ超え　～　３１．０ｔ以下
		6	３１．０ｔ超え　～　３７．５ｔ以下
		7	３７．５ｔ超え　～　５０．０ｔ以下
		8	５０．０ｔ超え　～　７０．０ｔ以下
		9	７０．０ｔ超え　～１００．０ｔ以下
C	クレーン区分	1	ラフテレーンクレーン（油）　２５吊
		2	〃　（油）　３５吊
		3	〃　（油）　４５吊
		4	〃　（油）　５０吊
		5	〃　（油）　６０吊
		6	〃　（油）　７０吊
		7	クローラクレーン（油）　５０吊
		8	〃　（油）　５５吊
		9	〃　（油）　６５吊
		10	〃　（油）　８０吊
		11	〃　（油）　１００吊
		12	〃　（油）　１５０吊
		13	〃　（油）　２００吊
		14	〃　（油）　３５０吊
D	運搬車両区分	1	１１ｔ積トラック
		2	１５ｔ積トレーラ
		3	２０ｔ積トレーラ
		4	２５ｔ積トレーラ
		5	３２ｔ積トレーラ
		6	４０ｔ積トレーラ
		7	５０ｔ積トレーラ
		8	６０ｔ積トレーラ
		9	７０ｔ積トレーラ
E	運搬車両台数	実数	１日当たりの運搬車両台数（台／日）を実数入力（小数１位切上げ）
F	作業能力	実数	１日当たりの運搬仮置個数（個／日）を実数入力（小数１位四捨五入）

掲載頁	現行	改定	摘要
第３章 直接工事費の施工歩掛 ２節　増殖場工 P3-2-33	 **４－９　着定基質運搬設置費（海上一連方式）** **４－９－１　代価表作成手順** ・着定基質質量 ・現場条件 ・起重機船等在港状況 → 起重機船等の決定（４－４－２） →①起重機船等船種・規格 ↓ ①起重機船等船種・規格 → 引船規格の決定 →②引船規格 ↓ ・着定基質質量 ①起重機船等船種・規格 → 積込個数の算定（４－９－２） →③最大積込個数（N） ↓ ・作業種類 ・着定基質種類 ・着定基質質量 → 能力係数の選定 →④能力係数（設置・仮置） →⑤能力係数（積込） 作業種類能力係数（E_1） 着定基質種類能力係数（E_2） 施工区分能力係数（E_3） 着定基質質量能力係数（E_4） ↓ ⑤能力係数（積込） → １個当り積込時間の算定 →⑥１個当り積込時間（Cm_1） ↓ ④能力係数（設置・仮置） → １個当り据付・仮置時間の算定 →⑦１個当り設置・仮置時間（Cm_2） ↓ ⑥積込時間（Cm_1） ⑦設置・仮置時間（Cm_2） ・往復平均えい航距離（d） ・往復平均えい航速度（v） → １日当り航海数の算定 →⑧１日当り航海数（n） ↓ ③最大積込個数（N） ⑧１日当り航海数（n） → １日当り施工量の算定 →⑨１日当り施工量（N_1） ↓ ⑥積込時間（Cm_1） ⑦設置・仮置時間（Cm_2） ⑨１日当り施工量（N_1） → 起重機船等運転時間算定 →⑩起重機船等運転時間 ↓ ⑧１日当り航海数（n） ・往復平均えい航距離（d） → 引船運転時間の算定 →⑪引船運転時間 ↓ ・水中、陸上工事区分 ・着定基質種類・質量 → 労務編成の選択 →⑫労務編成 ↓ ⑨１日当り施工量（N_1） ①起重機船等船種・規格 ⑩起重機船等運転時間 ②引船規格 ⑪引船運転時間 ⑫労務編成・供用係数 → 代価表の作成 →・着定基質運搬設置・仮置（海上一連方式）１日（　個）当り代価表	 **４－８　着定基質運搬設置費（海上一連方式）** **４－８－１　代価表作成手順** ・着定基質質量 ・現場条件 ・起重機船等在港状況 → 起重機船等の決定（４－４－２） →①起重機船等船種・規格 ↓ ①起重機船等船種・規格 → 引船規格の決定 →②引船規格 ↓ ・着定基質質量 ①起重機船等船種・規格 → 積込個数の算定（４－８－２） →③最大積込個数（N） ↓ ・作業種類 ・着定基質種類 ・着定基質質量 → 能力係数の選定 →④能力係数（設置） →⑤能力係数（積込） 作業種類能力係数（E_1） 着定基質種類能力係数（E_2） 施工区分能力係数（E_3） 着定基質質量能力係数（E_4） ↓ ⑤能力係数（積込） → １個当り積込時間の算定 →⑥１個当り積込時間（Cm_1） ↓ ④能力係数（設置） → １個当り設置時間の算定 →⑦１個当り設置時間（Cm_2） ↓ ⑥積込時間（Cm_1） ⑦設置時間（Cm_2） ・往復平均えい航距離（d） ・往復平均えい航速度（v） → １日当り航海数の算定 →⑧１日当り航海数（n） ↓ ③最大積込個数（N） ⑧１日当り航海数（n） → １日当り施工量の算定 →⑨１日当り施工量（N_1） ↓ ⑥積込時間（Cm_1） ⑦設置時間（Cm_2） ⑨１日当り施工量（N_1） → 起重機船等運転時間算定 →⑩起重機船等運転時間 ↓ ⑧１日当り航海数（n） ・往復平均えい航距離（d） → 引船運転時間の算定 →⑪引船運転時間 ↓ ⑨１日当り施工量（N_1） ①起重機船等船種・規格 ⑩起重機船等運転時間 ②引船規格 ⑪引船運転時間 → 代価表の作成 →・着定基質運搬設置（海上一連方式）１日（　個）当り代価表	（水産庁準拠） 番号の繰上げ 工種体系見直しに伴う仮置の削除 労務編成の削除

水産基盤整備事業（漁場）設計積算基準(令和６年１０月）　新旧対照表（令和６年１０月１日以降積算基準日適用）

掲載頁	現行	改定	摘要
第３章 直接工事費の施工歩掛 ２節　増殖場工 P3-2-34			（水産庁準拠） 字句修正

現行

（３）１日当り航海数の算定

$$n_1 = \frac{Ts}{N \times \frac{(Cm_1 + Cm_2)}{60} + \frac{2 \times d_1}{v_1} + t}$$ （小数３位四捨五入）

n_1：１日当り航海数（回／日）
Ｔｓ：作業船の１日当たり施工時間（６h／日）
Ｎ　：起重機船等の最大積載個数（個）
Cm_1：１個当り海上積込時間（分／個）
　$Cm_1 = b_i \times E_1 \times E_2 \times E_3 \times E_4$（小数２位四捨五入）
Cm_2：１個当り設置時間（分／個）
　$Cm_2 = b_i \times E_1 \times E_2 \times E_3 \times E_4$（小数２位四捨五入）
　　b_i：標準作業時間（１０分）
　　E_1：作業種類能力係数
　　E_2：着定基質種類能力係数
　　E_3：施工区分能力係数
　　E_4：着定基質質量能力係数
d_1：往復平均えい航距離（km）
v_1：往復平均えい航速度（km/h）
ｔ　：離接舷等の関連時間（０．５８h）

船舶種類	えい航距離（往復平均）		摘要
	１５ｋｍ未満	１５ｋｍ以上	
クレーン付台船または起重機船（非航旋回）	５．５Km/h	９．３Km/h	

係数区分			能力係数	摘要
E_1	積込	陸上	０．９０	注）１
		海上	１．００	
	設置		１．００	
E_2	着定基質	異形	１．００	
		単体	１．００	
	増殖場・産卵礁	単体	１．００	
		組立	１．２０	
E_3	施工区分	陸上	０．９０	
		海上	１．００	

係数区分		能力係数	摘要
E_4	4.5t以下	０．４０	
	4.5 ～ 7.5 〃	０．５５	
	7.5 ～ 12.5〃	０．６５	
	12.5 ～ 22.0〃	０．７５	
	22.0 ～ 31.0〃	０．８５	
	31.0 ～ 37.5〃	０．９０	
	37.5 ～ 50.0〃	１．００	
	50.0 ～ 70.0〃	１．１０	
	70.0 ～100.0〃	１．２０	

注）１　E_2の増殖場・産卵礁は、産卵礁運搬・据付工の場合に用いる。

改定

（３）１日当り航海数の算定式

$$n_1 = \frac{Ts}{N \times \frac{(Cm_1 + Cm_2)}{60} + \frac{2 \times d_1}{v_1} + t}$$ （小数３位四捨五入）

n_1：１日当り航海数（回／日）
Ｔｓ：作業船の１日当たり施工時間（６h／日）
Ｎ　：起重機船等の最大積載個数（個）
Cm_1：１個当り海上積込時間（分／個）
　$Cm_1 = b_i \times E_1 \times E_2 \times E_3 \times E_4$（小数２位四捨五入）
Cm_2：１個当り設置時間（分／個）
　$Cm_2 = b_i \times E_1 \times E_2 \times E_3 \times E_4$（小数２位四捨五入）
　　b_i：標準作業時間
　　E_1：作業種類能力係数
　　E_2：着定基質種類能力係数
　　E_3：施工区分能力係数
　　E_4：着定基質質量能力係数
d_1：往復平均えい航距離（km）
v_1：往復平均えい航速度（km/h）
ｔ　：離接舷等の関連時間（０．５８h）

船舶種類	えい航距離（往復平均）		摘要
	25.5ｋｍ未満	25.5ｋｍ以上	
クレーン付台船または起重機船（非航旋回）	５．５Km/h	９．３Km/h	

（２）能力係数等

①異形ブロック

係数区分			能力係数	摘要
b_i	標準作業時間（分）		８．５０	
E_1	積込		０．９０	
	設置		１．２０	
E_2	異形ブロック		１．００	
E_3	施工区分	海上	１．００	

係数区分		能力係数	摘要
E_4	4.5t以下	０．５０	
	4.5 ～ 7.5 〃	０．６５	
	7.5 ～ 12.5〃	０．７０	
	12.5 ～ 22.0〃	０．８０	
	22.0 ～ 31.0〃	別途考慮する	
	31.0 ～ 37.5〃		
	37.5 ～ 50.0〃		
	50.0 ～ 70.0〃		
	70.0 ～100.0〃		

※設置E_1を除き、異形ブロック運搬据付（海上一連方式）を適用している。

②単体着定基質、コンクリート製組立着定基質、鋼製組立着定基質

係数区分			能力係数	適要
b_i	標準作業時間（分）		８．００	
E_1	積込		０．７０	
	設置		１．００	
E_2	単体着定基質		０．９０	
	ｺﾝｸﾘｰﾄ製組立着定基質		１．００	
	鋼製組立着定基質		１．７５	
E_3	施工区分	海上	１．００	

係数区分		能力係数	摘要
E_4	4.5t以下	０．４０	
	4.5 ～ 7.5 〃	０．９５	
	7.5 ～ 12.5〃	１．００	
	12.5 ～ 22.0〃	１．１５	
	22.0 ～ 31.0〃	別途考慮する	
	31.0 ～ 37.5〃		
	37.5 ～ 50.0〃		
	50.0 ～ 70.0〃		
	70.0 ～100.0〃		

摘要

記載の修正

距離区分の修正

能力係数の変更

掲載頁	現行	改定	摘要
第３章 直接工事費の施工歩掛 ２節　増殖場工 P3-2-35			（水産庁準拠）

現行

２）労務編成　（単位：人または日）

名称	玉掛・玉外のどちらも陸上(水上)の場合	玉掛・玉外のどちらか水中の場合	玉掛・玉外のどちらも水中の場合	適用
とび工	2	1	1	
普通作業員	4	3	3	
潜水士船	－	０．８	０．８	

３）代価表
（１）着定基質運搬据付・仮置（海上一連方式）　１日（　個）当り　【Ｊ９９０５７】【Ｊ９９０５８】

名称	形状寸法	単位	数量 非航式	摘要
クレーン付台船または起重機船運転	非航旋回鋼Ｄ　ｔ吊 ｔ吊	日	１．０	運転Ｔ₁Ｈ／就８Ｈ
引船運転	鋼Ｄ　PS型	日	１．０	運転Ｔ₂Ｈ／就８Ｈ
①潜水士船運転	D180PS型　3～5t吊	日	２）による	就業８Ｈ
とび工		人	〃	
普通作業員		人	〃	
雑材料		%		

改定

２）代価表
（１）着定基質運搬設置（海上一連方式）　１日（　個）当り　【Ｊ９９０５７】【Ｊ９９０５８】

名称	形状寸法	単位	数量 水深10m未満 単独潜水方式	数量 水深10m以上20m未満 ２人潜水方式(交互)	摘要
クレーン付台船または起重機船運転	非航旋回鋼Ｄ　ｔ吊 ｔ吊	日	１．０		運転Ｔ₁Ｈ／就８Ｈ
引船運転	鋼Ｄ　PS型	日	１．０		運転Ｔ₂Ｈ／就８Ｈ
①潜水士船運転	D270PS型　3～5t吊	日	０．８	－	就業８Ｈ
②潜水士船運転	D270PS型　3～5t吊	日	－	０．８	就業８Ｈ
とび工		人	１		
普通作業員		人	３		
雑材料		%			

注）1.玉掛・玉外のどちらか水中以外の場合は、別途考慮する。
2.水深は平均干潮面（Ｍ．Ｌ．Ｗ．Ｌ．）からの水深とする。
3.水深20m以上の場合は、別途考慮する。
4.現場条件により、潜水士が2人同時作業を行わなければならない場合は、適用外とする。

摘要

労務編成の削除

名称修正

水深による潜水方式分の追加
潜水士船規格の変更

注意書きの追加